

老人クラブ会員の方へ

平成26年3月

発行 広島県警察本部
交通部交通企画課

夜間の外出は特に注意を！

夜間、歩行中に車に跳ねられる高齢者の交通事故が増えています。

夜間に交通事故に遭うと、昼間と比べ、**亡くなる割合が**

3.1倍

と高くなっています。

※広島県内の高齢者の交通事故データ参照(H25)



夜間、歩行中の高齢者の交通事故の特徴（平成25年中）

- 約7割が道路横断中で、その内約5割が横断歩道でない場所
- 横断歩道を横断中に交通事故に遭い、亡くなった方はゼロ
- 約6割が自宅付近(500m以内)の通り慣れた場所
- 約3割が歩行者側にも原因がある
- 殆どの方が反射材の着用なし



夜間に潜む危険性

【車のドライバー】

- ◆ 昼間に比べ視認性が悪くなり、歩行者の発見が遅れる
- ◆ 交通量が閑散としているため、スピードを出しがちになる
また、横断する者はいないと思いつつ



【歩行者】

- ◆ 車のライトが見えるため、ドライバーが気づいてくれていると思いがちになる
- ◆ 車との距離感や車間速度がつかみにくなる

夜間、交通事故に遭わないためには・・・

「私は夜間外出しないから関係ない」と思っていませんか？
会合や急遽の用事で外出することもあり得ます。

- ★ **夜間、道路を横断するときは、横断歩道があるところを選び、昼間以上に左右の安全を確認しましょう。**
- ★ **必ず反射材やLEDライトを活用しましょう。**



光って安全！
キラリ☆マン